

埼玉県環境科学国際センターＥＳＣＯ事業に係る 提案審査の講評について

本事業は、環境の保全及び創造に取り組む県民への支援や環境問題へ対応するための試験研究、環境面での国際貢献など多面的な機能を持った公の施設へのＥＳＣＯ提案公募であり、省エネルギー設備改修及び中央監視業務等について、応募者の独自性あるノウハウを生かした提案を広く求めたところ、ジョンソンコントロールズ株式会社・東芝ファイナンス株式会社・入間空調株式会社・極東ビル管理株式会社・大星ビル管理株式会社から応募提案がありました。

埼玉県による事前の省エネルギー診断では、7.5%の省エネルギー率を見込んでいましたが、応募者の提案はこの値を上回る省エネルギー効果が見込まれる内容となっており、事業の技術面及び維持・運転管理面に具体性や妥当性がある提案でした。

このＥＳＣＯ提案を、埼玉県環境科学国際センターＥＳＣＯ事業提案審査要領に基づき、提案書、応募者によるプレゼンテーションなどについて、事前に公表した審査要領に従い、審査を行いました。

今回は1グループのみによる提案でありましたが、このジョンソンコントロールズ株式会社のグループの提案を最優秀提案とし、優先交渉権者とするものとしました。

ジョンソンコントロールズ株式会社のグループの提案は、熱源機器の更新、照明設備の高効率化、遠隔監視システムの導入による省力化など、財政面、技術面、環境面でバランスのとれた提案となっていました。特に、ガラス面の多い建物の特徴をよく研究し、ガラスコーティングによる室内環境の改善や新技術である照明器具のＬＥＤ化を率先して採用するなど、環境事業を推進する建物の目的に合致するものでありました。

最後に、多大なる労力をおかけし、貴重なご提案をいただいた応募者に心からお礼申し上げます。

平成20年7月28日

埼玉県環境科学国際センターＥＳＣＯ事業提案選定会議

委員長	高村 淑彦
副委員長	津久井 千章
委員	島崎 規子
委員	岸田 健
委員	藤尾 勉
委員	金子 昌弘